

働くとは何か

— 一生勉強、一生青春 —

株式会社 開倫塾

代表取締役 社長 林 明夫

(社団法人経済同友会 幹事)

<はじめに> 自己紹介

1. 働くとは何か＝仕事をする事

(1) 仕事をするとは何か。

- ① 「製品」や「サービス」を「お客様」に提供すること。
- ② ただし、お客様の「問題解決」にならないければ、仕事をしたことにはならない。お客様の「お役に立つ」仕事をしたとはいえない。
- ③ 「仕事」とは、お客様の「問題解決」になることで、お客様のお役に立つこと。

(2) 何のために働くのか。(働く目的とは)

- ① 「生活できるだけの収入」を得るため。
- ② 仕事を通して「自己実現」するため。
※このような仕事のことを「ディーセント・ワーク」(Decent Work)、ちゃんとした仕事とよびます。
◎ 「ディーセント・ワーク」に就(つ)くことをめざそう。

(3) 仕事はいつまでするのか。(何歳まで働き続けたらよいのか)

- ① 一生涯働き続けること(生涯現役)も素晴らしい。
- ② ただし、仕事にはたくさんの種類がある。どのような仕事にも必ず「社会的使命(mission、ミッション)」がある。
- ③ 一つひとつの仕事の「社会的使命(ミッション)」とは何かをよく考え、その上でお客様「問題解決」になることで、お客様のお役に立つことをめざそう。
- ④ そう考えれば、何歳になってもいろいろな形で仕事をし続けることはできる。「生涯現役」で働き続けることができる。

2. 「ディーセント・ワーク(Decent Work、ちゃんとした仕事)」に就くには

(1) 小学校・中学校で学ぶことを完全に身につけておくことは不可欠(ふかけつ)。

- ① 全科目すべて役に立つものばかり。
- ② 「欠席」「遅刻」「早退」「忘れ物」「おしゃべり」「居眠り」などをしないことも大事。

- ③整理(せいり)、整頓(せいとん)、そうじ、後片付けができることも大事。
- ④「躰(しつけ)」が身につけていることも大事。
- (i)「美しい立居振る舞い(たちいふるまい)」「(「服装第一」ダラシナ系は認められない)
- (ii)「敬語表現を含む言葉づかい」「(「です、ます」調で話せること)
- ⑤人の話を最後まで、相手の目を見て聞くことができること、必要なことは「メモ」を取り続けることができることも大事。
- ※「仕事」のよくできる人は、人の話を最後までメモを取り続けながら聞き、そのメモを何十回も読み直し、自分のものとして身につける能力のある人が多い。
- ※これは、学校での授業の受け方、復習の仕方と全く同じ。
- ※「勉強の方法」をいつも考えることが大事。

(2) 一生涯にわたって勉強しよう。

- ①高校、大学(短期大学、専門学校)、大学院にもどんどん行こう。
- ※何歳になっても行くことを考えよう。外国の学校にも行ってみよう。
- ②本はゆっくり毎日読もう。
- ※本を読んで考えよう。気に入ったところは、たとえ一行でも「書き抜き読書ノート」に書き写そう。「書き抜き読書ノート」は一生の宝物。何十回、何百回も「音読」しよう。
- ③新聞を(1日1時間)毎日読んで考えよう。
- ※日本のように新聞が自由に読める国は少ない。(毎朝、毎夕新聞が家に届く)
- ※「1日1記事の切り抜き」をしよう。切り抜いた記事を「音読」し、世界や日本、地域の動きを実感しよう。
- ※やって良いこと、悪いことを知ることができるのも新聞。
- ※世の中の動きを知った上で仕事をするのは大切。
- ④師匠(ししょう)となる人(お手本となる人)をもとう。
- ※「師匠」探しをしよう。
- ⑤励まし合う仲間をもとう。
- ※励まし合う仲間づくりをしよう。

(3) 「健康第一」

- ① 「心の健康」 { 1日1回は自分を見つめなおそう。
1日1回はホッとできる時間をもとう。
- ② 「体の健康」 { 一生、楽しんでできる運動を身につけよう。(スポーツ、エクササイズ)
「早寝、早起き、朝ごはん」

〈役に立つ科目〉

- ・「保健体育」…病気になる身体づくりをしよう。「病気とは闘おう！」
- ・「技術家庭」…自分のことは自分でできるようにしよう。
- ・「美術」…毎月1回は美術館に行こう。 } 東京は、世界中の人々が
- ・「音楽」…よい音楽に親しもう。 } あこがれる「音楽と美術の都」。

3. おわりに ー夢、目標をもって生きようー

(1) 私の中学校時代の夢

- ① 弁護士になること。
- ② 英語がよくできるようになること。
- ③ 柔道が強くなること。

(2) 私の好きなことば ー好きなことばを大切にー

- ① 「自他共栄」 自分も他人も共に栄えよう 栃木県足利市立山辺中学校柔道部 椎名弘先生
- ② 「ブルドック魂」 食いついたら離すな 栃木県足利市立山辺中学校担任 岡田忠治先生
- ③ 「一所懸命」 一つの所で命を懸けるくらい熱心に
栃木県立足利高校 マラソン大会の合い言葉
- ④ 「独立自尊」 国も個人も独りで立ってはじめて自らを尊ぶ(大切にすることが)できる
慶應義塾の創始者 福沢諭吉(ふくざわゆきち)先生
- ⑤ 「会った人は皆友達」 一期一会(いちごいちえ)、一つ一つの出会いを大切に
京都 一燈園(いっとうえん) 石川洋先生
- ⑥ 「教育ある人」とは(一死死ぬ前の日まで)勉強し続ける人 経営学者 ドラッカー先生
- ⑦ 「一生勉強、一生青春」 足利市に在住した書家 相田みつを先生

(3) 私の仕事(開倫塾以外の仕事)

- ① マニー株式会社 社外取締役
- ② 特別養護老人ホーム 清明苑 理事
- ③ 東日本高等学院 評議員
- ④ 宇都宮大学大学院情報工学研究科 非常勤講師
- ⑤ 開倫ユネスコ協会 会長
- ⑥ ラジオ栃木放送(CRT) 「開倫塾の時間」 毎週土曜日 9:15 ~ 9:25am 一人で 担当(18年目)

ー御清聴を感謝いたします。ー

以上